



第8回目のテーマはこちら

「アセリオとロピオンの違い」

～なんとなくを明確に～

患児が痛みを訴えた時、医師からの指示が2種類あったらあなたはどちらを選択しますか？
 注射薬の場合はアセリオかロピオンかという選択肢になることが多いと思います。
 アセリオとロピオンの主な特徴を表にまとめました。

	アセリオ(アセトアミノフェン)	ロピオン(NSAIDs)
作用	解熱・鎮痛	解熱・鎮痛・ 抗炎症
副作用	ほとんどない (大量に使うと肝機能障害のリスク)	胃腸障害・腎障害・出血傾向
最高血中濃度 到達時間 (Tmax)	30-60分	6-8分
半減期	2-4時間	5-6時間
特徴	小児での安全性が確立されている	粒子が大きくフィルターを通過しない

アセリオとロピオンの一番大きな違いは「**抗炎症作用の有無**」です。
 ロピオンは抗炎症作用があるので、痛みの原因に直接働きかけて痛みを鎮めようとしてくれます。
 それに対してアセリオは、大脳や中枢神経系に作用すると考えられています。
 薬剤の作用機序が違うので、**2つの薬剤を併用して使うことも可能**です。
 その違いは副作用にも現れており、アセリオは指示通りに使用すれば副作用はほとんど気にしなくて大丈夫ですが、ロピオンは副作用が問題となる場合もあるので注意する必要があります。
 また、Tmax と半減期は個人差がありますが、薬剤使用後の痛みの評価をする上で重要になりますので、目安として覚えておくと役に立ちます。

アセリオは副作用がほとんどないため、優先して使われることが多いかと思います。
 「アセリオで疼痛緩和されない場合に使うから」「副作用があるから」「抗炎症作用があるから」といつて**ロピオンの方が強い薬というわけではありません**ので勘違いしないようにしましょう。